

令和5年度札幌市国民健康保険会計決算

【歳入】					(単位：億円)	
	令和5年度				令和4年度 決算(C)	前年比 (B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
保険料	299.5	299.5	302.7	3.2	287.0	15.7
国庫・道支出金	1,328.8	1,329.5	1,327.8	△ 1.7	1,325.3	2.5
繰入金	217.4	217.4	206.7	△ 10.7	196.0	10.7
その他	3.0	3.0	2.2	△ 0.8	2.6	△ 0.4
歳入合計	1,848.7	1,849.4	1,839.3	△ 10.1	1,818.9	20.4

※その他は、延滞金、保険給付費返還金等

【歳出】					(単位：億円)	
	令和5年度				令和4年度 決算(C)	前年比 (B-C)
	当初予算	予算現額(A)	決算(B)	予決差(B-A)		
総務管理費	38.3	39.1	35.8	△ 3.3	37.8	△ 2.0
療養費等	1,313.9	1,313.9	1,307.1	△ 6.8	1,299.3	7.8
保健事業費	10.9	10.9	9.9	△ 1.0	9.8	0.1
事業費納付金	480.4	480.4	480.4	0.0	469.1	11.3
その他	5.2	5.2	0.9	△ 4.3	1.8	△ 0.9
歳出合計	1,848.7	1,849.4	1,834.1	△ 15.3	1,817.8	16.3

※その他は、保険料還付金、国庫支出金等返還金

歳入－歳出 **5.3**

予算と決算のかい離理由（主なもの）（単位：億円）

- 【歳入】
- 保険料 + 3.2
- ・ 予算見込時より賦課額が増加し、それに伴い収納実額も増加した（現年度分2.1億円増、滞納繰越分1.1億円増）
- 繰入金 △ 10.7
- ・ 予算計上していた予備費の不使用、事務費の節減等により、一般会計繰入金が減少した
- 【歳出】
- 療養費等 △ 6.8
- ・ 予算見込時より被保険者数が減少したことにより、支出が減少した
（予算346,395人→決算339,367人 △7,028人）
- その他 △ 4.3
- ・ 国庫支出金等返還金の発生事案が少なく、支出が減少した

国民健康保険支払準備基金額の推移（億円）

R5年度	期首残額	64.3
	期中取崩額	15.8
	期末積立額	5.3
	期末残額	53.8
R6年度	取り崩し額(予定)	6.1
	期末残額(予定)	47.7

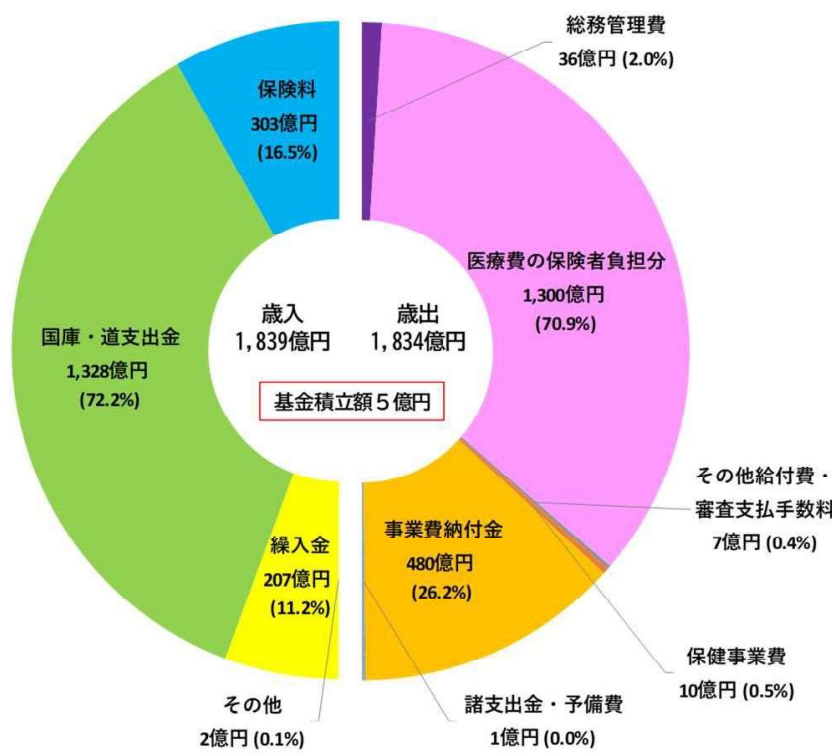
基金の令和6年度期末残額見込みについて

- 令和5年度の期末残額は53.8億円。
- 令和5年度に物価高騰対策として基金（10億円）を活用したことによるゆり戻しに伴い、令和6年度は、特に中間所得層世帯の保険料に大きな影響が生じることとなった。
このため、保険料の激変緩和対策として4億円、その他（返還等）2.1億円の計6.1億円を取り崩す予定。
- 結果として、取崩し後の期末残額（貯金）は47.7億円となる見込み。

※表中の数字は項目ごとに四捨五入しているため、総額・期末残額が一致しない場合がある。

▶▶決算状況

○令和5年度国民健康保険会計決算の概要



○保険料収納額・収納率

		(億円)		
現年度分	賦課額	R3年度	R4年度	R5年度
	収納額	302.5	302.5	312.1
	収納率	286.1	286.8	294.4
滞納繰越分	賦課額	94.56%	94.79%	94.33%
	収納額	34.5	32.7	30.7
	収納率	8.2	8.0	8.1
		23.90%	24.60%	26.40%

○被保険者数・世帯数

	R3年度	R4年度	R5年度
被保険者数	360,893人	352,850人	339,367人
前期高齢者 (全体に占める割合)	168,903人 (46.80%)	163,823人 (46.43%)	155,677人 (45.87%)
世帯数	258,092世帯	255,530世帯	249,053世帯

(被保険者数・世帯数は3月～2月平均)

○札幌市の人口である約197万人のうち、約17%が国保に加入している。
○被保険者数は、社会保険適用拡大、後期高齢者医療制度への移行等により減少。

○総医療費・一人当たり医療費

